

「つながる力」の段階表

区分	要素	1	2	3	4	5	6	目指す将来の姿	
		教師の直接的な援助を受けながら、様々な体験をすることで、基本的な行動の一つ一つを着実に身に付けていく段階	教師からの言葉かけによる援助や、教師の動作や動きの模倣を通して、基本的な行動を身に付けていく段階	主体的に活動に取り組み、社会生活につながる行動を身に付けていく段階	社会生活や将来の職業生活の基礎となる力を身に付けていく段階	卒業後の家庭生活・社会生活・職業生活などを考慮した基礎的な内容を学習し、力を伸ばしていく段階	卒業後の家庭生活・社会生活・職業生活などを考慮した発展的な内容を学習し、それらを活かして生活していく段階		
つ な が る 力	自分 の こ と	I 自己理解 (属性)	自分の持ち物が分かる	自分の性別や学年が分かる	自分の所属する集団が分かる (学部, 学級, 学習グループ等)	家庭生活における属性が分かる (住まい, 家族, 住所・電話番号)	社会生活における属性が分かる (所属等)	自分の属性について相手に伝える	自分の属性についてよく理解し、必要に応じて相手に伝える
		II 自己理解 (内面)	自分のやりたいことが分かる	自分の好きなことが分かる	自分の得意なことや苦手なことが分かる	自分の良さが分かる	自分の長所と短所が分かる	自分の課題を肯定的に捉え、対処の仕方を考えて行動する	自分の特性が分かり、前向きに対処しながら生活する
		A III 自己統制	自分の快・不快の感情に気づき、表出する	不快な感情を大人とのやり取りで解消する	不快な感情を我慢する	自分の感情に折り合いをつけて行動する	自分の感情のコントロール方法が分かる	感情をコントロールして行動する	自分なりの方法で、感情や行動をコントロールをしながら生活する
	相 手 の こ と	I 他者理解	他者の存在に関心をもつ	他者と感情を共有する	様子や表情から、相手の気持ちに気づく	他者の良さや頑張りを認める	自分と他者の様々な違いに気付く	他者の気持ちを推し量って行動する	自分と他者との違いを認め、他者の気持ちを尊重しながら生活する
		II 他者との協働	大人と一緒に取り組む	大人を介して、友達と一緒に取り組む	友達と一緒に取り組む	仲間と協力して取り組む	目的達成のために分担された仕事に取り組む	仲間と話し合いながら、分担・協力して取り組む	目標や目的を共有し、分担、協力して取り組む
		B III 集団参加	他者と場を共有する	集団での活動を楽しむ	集団での活動に積極的に参加する	集団の中での自分の役割が分かる	集団の中での自分の役割を率先して果たす	自分の立場や役割を理解して、集団に参加する	自分の立場や役割を理解して、集団の中で主体的に活動する
	社 会 と の つ な が り	I ルールやマナー	大人との約束を守って活動する	簡単なルールを理解して活動する	集団の決まりの中で生活する	生活上のルールがあることが分かり、それを守ろうとする	生活上のマナーがあることが分かり、それを守ろうとする	ルールやマナーを守ることの意味や必要性を理解し、行動する	ルールやマナーを守って生活し、周囲の人と良い関係を築く
		II 知識の活用	様々なことに興味をもって取り組む	経験したことのある活動に積極的に取り組む	慣れない活動に対しても、経験を活かして挑戦する	経験したことや学んだことを活かして生活する	学んだことを別の場面でも活かして生活する	学んだことを自分の力として身に付け、それを活かして、生活をより良くしようとする	
		III 社会生活への関心	身の回りのできごとに関心をもつ	校内や校外の様子に関心をもつ	身近な店舗や公共施設等を利用し、そのはたらきに関心をもつ	身の回りの様々な情報に関心をもつ	社会の事象に関心をもち、見聞きしたことを話す	社会の事象に関心をもち、自分なりの意見をもつ	社会の事象に関心をもち、自分の意見をもって参加する
		C IV 相談問題解決	大人からの手助けを受け入れる	身近な大人に手助けを求める	分からないことを大人に尋ねる	困っていることを相手に伝え、一緒に解決する	困ったときの相談先や連絡先が分かる	問題を解決するための様々な方法(報告・連絡・相談)が分かる	目的に合った方法を選択して問題を解決する
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	I 手段	自分なりのコミュニケーションの手段をもつ	相手に伝わるコミュニケーション手段をもつ	いくつかの手段を用いて相手と関わる	必要に応じて情報機器を使って、相手と関わる	状況に応じた手段を選択して、相手と関わる	情報機器の利便性・危険性を理解して活用する	情報機器を状況に応じて適切に活用して相手と関わる
		II 意思表示	快・不快の感情を表す	要求や拒否などの意思を伝える	自分の意思を伝える	自分の意思を相手に分かるように伝える	自分の意見を整理して相手に伝える	相手の意見を聞きながら、自分の意見を説明する	相手の意見を尊重しながら、自分の意見を正しく伝える
		III 応答	呼びかけに応じる	名前を呼ばれたら返事をする	相手に伝わるように返事をする	簡単な質問に答える	質問に対して適切な言葉で答える	状況に応じた言葉や態度で応答する	状況及び自分と相手の関係性に応じて、適切な言葉や態度で応答する
		IV 挨拶	挨拶に応じる	言葉やしぐさで挨拶をする	その場に合った、簡単な日常の挨拶をする	自分から挨拶をする	状況に応じた挨拶を考えて行う	自分と相手の関係性に応じた挨拶を考えて行う	状況及び自分と相手の関係性に応じて、適切な言葉や態度で挨拶をする
		D V 指示理解	身近な人からの発信に関心をもつ	身近な人からの指示の大まかな内容が分かる	いくつかの指示を理解して行動する	全体への指示を理解して行動する	指示の内容を正確に理解して行動する	指示の内容を理解し、自分で考えて行動する	指示の内容を理解したうえで自分で判断して行動する
		VI 人と関わる意欲	身近な人に関心をもつ	身近な人との関わりを楽しむ	自分から相手に関わろうとする	集団の中で、様々な人と意欲的に関わる	様々な集団の中で、様々な人と意欲的に関わろうとする	社会の中で様々な人と意欲的に関わろうとする	社会の中で様々な人と意欲的に関わり合いながら生活する